

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		利用人数やイベントに応じて仕切りの場所を子ども達が過ごしやすいように変更している	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		個々の特性等に合わせた療育が行えるように配置や体制作りを意識している	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		約束事や登所準備等は視覚で分かるように掲示・動線を組み、子ども達自身で動けるように環境設定を行っている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日掃除をしっかりと行い、机や椅子の高さ等も子ども達に合わせている	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		クールダウンできるコーナーを作り必要に応じて利用できるようにしている	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		毎月の会議や朝礼、振り返りを通じて日々話し意識、改善できるように努めている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		イベント毎に保護者の方にアンケート記入を依頼したり、話を聞き、その内容を職員内で共有している	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		会議の時以外にも常に話せ、意見交換できる場を設けている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		評価を得られる体制が出来上がっていないため、今後の課題としている
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		事業所内での研修の実施、外部機関を活用した研修機会の提供を行っている	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		年間カリキュラムに沿ってプログラムを作成し、毎月保護者へ公表している	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		連絡帳や保護者の方と話せる機会を大切にしニーズや課題の把握に努めている	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		保護者の方や支援員にも子どもの様子や意見を聞き検討を行っている	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		更新後には周知を行い、記録を記入する箇所にも計画書が出るようにし計画に沿った支援が行われるようにしている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		毎日の記録に加え、会話や日々の行動で気になる点を記入できるようにし職員間で共有できるようにしている	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		児童発達支援ガイドラインに沿って作成している	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	年間カリキュラムを軸とし、子どもの様子や相性に合わせて変更できるように職員間で会議している	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		子ども達が興味を持ち楽しみ取り組めるように工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		子どもの状況に応じて活動内容を定め、計画・支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		支援前には支援内容・活動について、また子どもの特性や配慮することなどを会議している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援終了後は活動の振り返りに加え、子ども達の様子を一人ひとり共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		毎回必ず記録をとり支援の検証と改善に繋げている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的なモニタリングを行い計画の見直しを行っている。期間に囚われず必要に応じて見直しもしている	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児発管だけに限らず、支援を行う職員が適任な場合等都度判断し参加している	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		現在連携を行っている事案はないが必要に応じて連携ができるように整えている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		活動の記録を通所している園の先生に毎月共有したり、子どもの様子を見学させていただいている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	必要に応じて就学先へ事業所での様子をまとめたものを共有している	こちらからの様子をお伝えしていることが殆どなので相互理解を図っていけるように努めていきたい
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3		機会を設けることができていない為、今後連携を図れるように体制を整えていきたい
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	他園の児童が参加できるイベントを不定期だが企画している	利用者との時間が合わないことがある為、実際の交流までにつながっていない。今後も交流できる場を考え企画していきたいと思う
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳や日々のフィードバックなどを通じて保護者の方と共通理解を持てるように意識している	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	手紙での配布や法人全体で保護者会やペアレントトレーニングの実施を行なった	実践的な研修等の機会はまだ実施回数が少ないため、今後も継続して開催していきたい
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約の際に説明し、日々必要に応じて個々に対応している	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		子どもの様子を保護者の方へ共有し、保護者の方の意思を伺いながら作成している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		計画を作成・更新した際は保護者の方一人ひとりへ説明を行なっている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		モニタリングの時期以外でも話ができる体制が整っている際は面談を行なっている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	保護者会の開催は年齢を分けて実施し、兄弟同士での交流の場は設けていない	実施回数が少ない為、今後も継続的に開催していきたい
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		その場で対応できる場合はその場で対応し、体制が整っていない場合は迅速に対応できるように職員間で情報共有している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		HPやSNSを活用し日々の療育の様子を外部に発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の取扱いに十分留意している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		口頭だけでなく必要に応じて書面、アプリを用いて情報が行き渡るように意識している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	地域の子どもたちを招いてのイベントの開催を行なっている。	開催の回数が少ない為、継続的に行っていききたいと思う
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各マニュアルの策定を行なっている訓練を行なっている。	全てのマニュアルの周知が行なえていない為今後行っていききたいと思う
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		業務継続計画(BCP)を策定し必要な物は用意を行なっており、定期的な避難訓練にも参加している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		契約時に確認の実施と服薬に関しては都度、連絡帳に記載するようにお伝えしている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		契約時に確認を行なっている。イベント等で飲食する場合は都度保護者の方へ確認している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を実施している	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	契約時に災害時等の避難場所や連絡等について周知している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	5		事業所内だけでなく、法人内で共有している。再発だけでなく事前の防止につながるよう意識している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		定期的な研修を実施している	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		マニュアルを策定した上で、契約時等に説明を行っている	